

住宅用 止水玄関・勝手口ドア

【提案書】

気候変動時代に対応した「住宅用 止水玄関・勝手口ドア」の普及について

1. 背景と課題認識

近年、気候変動に起因する局地的な大雨・ゲリラ豪雨の増加により、都市部・郊外を問わず内水氾濫や小規模河川の氾濫が頻発しています。その多くは、事前の避難や止水作業が間に合わず、玄関・勝手口ドアから浸水するケースが急増しています。

とくに 1m 未満の低層域の浸水は、建物基礎や床材、壁面、電気設備などに深刻な被害を及ぼし、住宅の寿命と安全性を損なう重大なリスクとなっています。

2. 提案内容

◆「1m 以下の浸水を防ぐ住宅用 止水ドア」の開発・普及促進

- **外開き・片開きドア（一般的な玄関や勝手口）**に特化した止水構造
 - ゴムパッキンによる気密・水密強化
 - 下部耐圧強化（外部からの水圧対策）
 - 一定時間（例：60 分間の 50cm 水圧）での耐水テスト済表示
- リフォーム対応可能なドア枠規格も標準化
 - 既存住宅でも交換が容易な規格寸法
 - ドア枠一体型止水化により、施工性を向上
- 勝手口・裏口など無防備な出入口にも対応
 - 防犯・通風性を両立した「止水＋通風ドア」も検討

3. 期待される効果

- 浸水による住宅被害を入口から予防
- 止水板・土嚢などの手動対応が不要
- 高齢者・単身世帯でも無対応で浸水被害を抑制
- 住宅の価値維持・保険料軽減・寿命延伸

4. 政策・産業界への要望

◆住宅・建材メーカーへの要請：

- 標準品として「止水玄関・勝手口ドア」の製品化・カタログ掲載
- リフォーム対応品の企画開発と施工マニュアル整備

◆国土交通省・住宅行政への要望:補助金

- 対象地域:
 - ハザードマップ(洪水・内水氾濫・高潮)により浸水深 1m 未満と想定されている区域
 - 地方自治体作成の内水氾濫マップ指定地域
- 対象住宅:
 - 新築・既存住宅問わず、一定の防水性能基準を満たす玄関・勝手口防水ドアを設置する住宅
- 補助内容案:
 - 工事費・製品費の 1/3～1/2 を上限 10 万円～20 万円程度で補助
 - 地方自治体による上乗せ補助も可能とする制度設計

5. おわりに

今後の気候リスクを見据え、**受動的・恒久的な防災対策**として「止水ドア」の普及は急務です。避難が間に合わない、土嚢も置けない、そんな局面でも家と命を守る**“最後の砦”としての玄関・勝手口**を強化することは、住宅の新たなスタンダードになるべきです。

ぜひ、住宅メーカー・建材業界・行政一体となった普及支援をご検討ください。

【添付提案先案】

- 大手住宅メーカー 建材メーカー
- 国土交通省 住宅局／気候変動適応推進室
- 政府 各政党